

# 2-20 下水汚泥とそば殻を混ぜ合わせた堆肥を活用した栽培実証 (幌加内町)

○ 幌加内町では、町の特産物の「そば」の残さである「そば殻」を製粉業者から無償で調達し、それに下水汚泥を混ぜ合わせた堆肥を町営の堆肥センターにて製造し、町内そば生産農家で実証散布。

## ■ 国内資源の種類 ■ 肥料の種類・肥料名称

- 国内資源の種類
- ・ 下水汚泥
- ・ そば殻

- 肥料の種類・肥料名称
- ・ そば殻汚泥発酵肥料

## ■ 取組の経緯・内容・成果（見込み）

**取組の経緯**  
・ もともと町営の堆肥センターでは、牛糞とバークの堆肥製造を行っていたが、原料コスト上昇等の課題があったため、原料コストがかからない下水汚泥とそば殻を活用した堆肥製造の取組を開始。

**取組の内容**  
・ 汚泥は下水処理施設から週に1回、町の堆肥センターに運搬され、汚泥が一定量溜まったら町内の製粉業者から無償で引き受けたそば殻と混ぜ合わせ（汚泥の量に対し2～3倍の量のそば殻を混合）、2週間に1回程度切り返しを行い、一年以上かけて完熟させる。

**成果（見込み）**  
・ そば殻は町内の製粉業者から無償で調達し、製造コストの低減に寄与。令和5年6月に初めて町内生産者のそば畑にて実証的に散布。

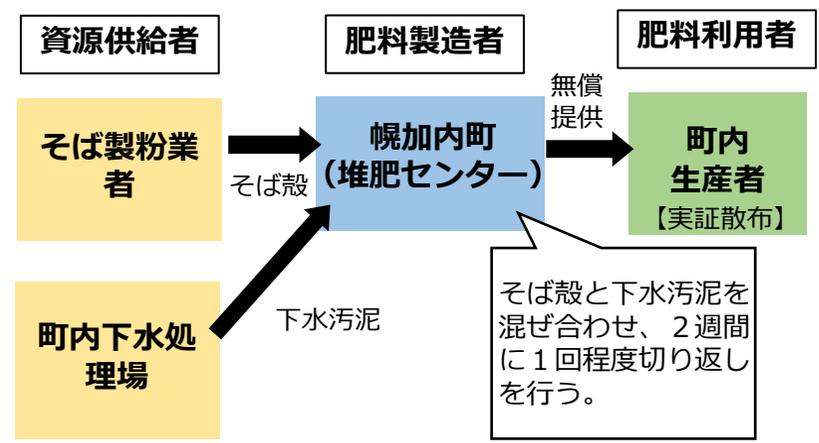
## ■ 作物 ■ 主成分の含有量（%）、特徴等

- 作物
- ・ そば（実証的に散布）

N	P	K
3.83	0.847	0.483

※ 乾物当たり

## ■ 主たる取組主体と肥料利用までの流れ



## ■ 今後の課題・取組

生産者にどう普及させていくか、実証ほ場での成果をふまえて検討。



【堆肥センター】



【汚泥堆肥】



【堆肥散布の様子】